

授業開講年度	2026	開講キャンパス	さくら夙川キャンパス
開講学期	春学期	開講曜日・時限	集中講義
科目コード	ZH0246	授業コード	40419
レベルナンバー	200	配当年次	カリキュラムにより異なります。
授業科目名	ポピュラーカルチャー研究（オンデマンド型／水曜日配信）		
担当教員名【代表】	石毛 弓		
担当教員名			
授業形態	講義		
授業方法	メディア授業（オンデマンド）		
単位数	2.0		
ディプロマポイント評価観点（※本科目がどの項目に該当しているかを示す）			
Knowing			
(知識とリテラシー)	教養と専門知識【DP1】	○	知識・情報を活用する力【DP2】
Doing			
(実践力)	国際感覚【DP3】		対人基礎力【DP4】
	対自己基礎力【DP5】		対課題基礎力【DP6】
Being			
(信念と志)	豊かな人間性と肯定的自己概念【DP7】		社会的責任【DP8】
授業の目的	現代においてわたしたちをとりまく多くの文化のうち、とくに一般向けに発信されているものをとりあげます。ポピュラーカルチャーを歴史や社会といった面から客観的に分析し、それがどのように現代社会や自己の形成（アイデンティティ）に影響しているのかを考えていきましょう。とくに、日本と日本以外の文化の比較を通じてポピュラーカルチャーの特徴を知り、表現できるようになることをめざします。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「ポピュラーカルチャー」という概念と特徴を理解し書き表すことができる ・自分をとりまく文化の特徴を認識し書き表すことができる ・ポピュラーカルチャーの概念を理解したうえで、自己と文化の関係性について、具体的な例を用いてレポートを書くことができる ・資料を用いて自分の意見を論理的に展開できる 		
授業概要	オンデマンド教材を用いる el-Campusを利用する ※課題には提出期限が設けられている。期限外の提出は原則認められない。最後の方になって一気に教材を視聴しても、課題が提出期限外になっている場合があるので注意する。※		
課題レポート等	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業内に提示される課題 ・毎回の授業最後に提示される課題 ・上述とは別にプレゼンテーション課題とレポート課題がある（各1回） 		
フィードバックの方法について	el-Campusで適宜行う		
授業時間外学習	el-Campusに提出する 毎授業後に予習・復習の課題がある		
授業回数	主題	概要	授業時間外学習(学習内容・時間)
01	ポピュラーカルチャー概論	「ポピュラーカルチャー」というコンセプトについての概説	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
02	「文化」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の意見を参照する	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化（カルチャー）」という概念の発生 ・現代における「文化」の概念 ・サブ・カルチャーという概念 	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
03	「マンガ」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「マンガ」からみる日本	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる

04	「マンガ」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「マンガ」からみる世界	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
05	「アニメ」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「アニメ」からみる日本	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
06	「アニメ」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「アニメ」からみる世界	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
07	「テレビドラマ」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「テレビドラマ」における需要と供給と越境	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
08	「ミュージック」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「ミュージック」の中でもとくに日韓のポップミュージックの考察	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
09	・「メディアミックス」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「芝居」という手法、とくに演劇におけるメディアミックスの分析	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
10	「コンテンツ・ツーリズム」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人と意見交換をする	・「ツーリズム」におけるコンテンツ・ツーリズムの性格と課題	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
11	ポピュラーカルチャーに関連した「イベント」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「イベント」の中でも、日本におけるポピュラーカルチャー、サブカルチャーのイベントを考察	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
12	ポピュラーカルチャーに関連した「イベント」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「イベント」の中でも、世界におけるポピュラーカルチャー、サブカルチャーのイベントを考察	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
13	ポピュラーカルチャーと「アイデンティティ」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「アイデンティティ」という概念と他者性	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
14	ポピュラーカルチャーにおける「ナショナリズム」について 授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「ナショナリズム」からみたポピュラーカルチャーとその越境	授業のリフレクション、復習、予習（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
15	全体のまとめ	・1～14回の総まとめと学んだ内容の振り返り	授業のリフレクション、復習、振り返りとまとめ（全体で90分）。el-Campusへの提出となる
成績評価の基準と方法		1. 各回の課題進捗状況（60%） 2. レポート試験（40%） 1. 課題やレポートにたいして必要な調査ができています。かつ論理的に表すことができています 2. 意見に独創性がある ※あたえられたテーマを、ポピュラーカルチャーの文脈で理解し、自分の考えを表すことができるかどうか成績評価の基準となる	

	<p>A： 授業への参加（課題の提出など）が90%以上ある。1および2の両方において、ポピュラーカルチャーの文脈に基づいた高い問題意識がみられる。根拠に基づき客観的に思考を展開している</p> <p>B： 授業への参加（課題の提出など）が80%以上ある。1および2のどちらかにおいて、ポピュラーカルチャーの文脈に基づいた高い問題意識がみられる。根拠に基づき思考を展開している</p> <p>C： 授業への参加（課題の提出など）が70%以上ある。1および2の両方において、自分自身の意見を展開することができている。根拠に基づき思考を展開している</p> <p>D： 授業への参加（課題の提出など）が60%以上ある。1もしくは2が十分にできていない。</p> <p>F： Dの基準を満たすことができていない</p> <p>※課題やレポートに著しい不備がみられる場合（例：剽窃・盗作など）や、自分自身の考えではないとみなされる場合（明らかなコピペなど）、成績は極端に下がります</p>
教科書	<p>なし</p> <p>授業内で必要に応じて資料を配布</p>
参考図書	<p>上野 俊哉、毛利 嘉孝『カルチュラル・スタディーズ入門』筑摩書房、2000</p> <p>高馬京子・松本健太郎『越境する文化・コンテンツ・想像力』ナカニシヤ出版、2018</p> <p>他、授業中に適宜紹介</p>
授業に関する質問等の方法	初回授業で担当教員に確認してください。
備考	
短大同時開講使用欄	